

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
疾病と障害1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	3期	澤田 海彦		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	疾病と傷害			座学	1	10	
科目概要							
多くの患者は、複数の慢性疾患および合併症を有し、多種類の薬を使用していることが多い。柔道整復師として患者の治療にあたるには、患者の有する疾患の既往、現状態、合併症や医師から受けている治療、服用中の薬などについて十分な情報と知識を習得する必要がある。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	患者の訴え・徴候・身体所見から患者の病状を理解できるようになるために、病歴の聴取方法、診察方法を習得し、得られた身体所見の表現法を身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 医療面接ができる。 2. 基本的な診察ができる。(1.視診、2.打診、3.聴診、4.触診、5.感覚検査、6.反射検査、7.生命兆候、) 3. 診察所見を医学用語で記載できる。 4. 病的な身体所見の病態を説明できる。 5. 異常所見を呈する代表的な疾患を2つ以上挙げることができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
授業内容を理解するためには生理学・病理学概論で学習した関連事項についてノート、教科書などで復習してから授業に臨むこと。疾病と傷害1で学習した所見と各疾患との関連を結び付けて理解すること。							
教科書・参考書							
教科書:一般臨床医学 改訂第3版 参考書:生理学 改訂第4版、							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	診察概論 A. 診察の意義、B. 診察の進め方 B 視診: 1. 意義と方法 2. 体格・体型				1~10	教科書・プリント	
第2回	B 視診: 3. 体位・姿勢 4. 栄養状態 5. 精神状態 6. 異常運動				10~16	教科書・プリント	
第3回	B. 視診: 7. 歩行 8. 皮膚				16~22	教科書・プリント	
第4回	9. 頭部、顔面 10. 頭部 11. 胸部 12. 腹部 13. 背部、腰部 14. 四肢				22~34	教科書・プリント	
第5回	C. 打診 D. 聴診				34~42	教科書・プリント・聴診器	
第6回	E. 触診				42~52	教科書・プリント	
第7回	F. 生命徴候				52~60	教科書・プリント	
第8回	G. 感覚検査 H. 反射検査				60~74	教科書・プリント・打鍵器	
第9回	I 代表的な臨床症状 3. 検査法				75~97	教科書・プリント	
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
医師免許取得(昭和43年)後、内科医師として、大学病院および公立病院で、医学生・研修医の指導をよび、多数の外来、入院患者の診察を担当した。							
メールアドレス							
sawada-t@nihonisen.ac.jp							